



ほけんだより

令和 2 年 9 月
大田区立保育園

9 月 9 日は救急の日です。救急医療や身の回りの安全について考える月でもあります。

昨年発表された東京消防庁の救急搬送データによると、平成 23 年から平成 28 年まで 6 年間の自転車事故のうち、約 65%が幼児用座席付自転車使用時の事故であると報告があります。そこで今回は、自転車に子どもを乗せるときの安全な利用の仕方についてお伝えします。

《自転車を安全に利用しましょう》

幼児用座席付自転車は、走行中だけでなく、停車中にも転倒などの事故が発生しています。ヘルメットやシートベルトの着用などの安全対策や慎重な走行を心がけること、また幼児を乗せたまま自転車を離れないことなど利用者の事故予防への心がけが大切です。

【幼児を 1 人乗せる場合】

16 歳以上の運転者は、幼児用座席を設けた自転車に 6 歳未満の幼児を 1 人に限り乗車させることができます。さらに運転者は幼児 1 人を子守バンド等で背負って運転できます。



【幼児を 2 人乗せる場合】

16 歳以上の運転者は、幼児 2 人を同乗させることができる特別の構造又は装置を有する自転車（幼児 2 人同乗自転車）に 6 歳未満の幼児 2 人を乗車させることができます。幼児 2 人を乗車させた場合、運転者は幼児を背負って運転することはできません。



警視庁ホームページ「自転車の交通ルール」より抜粋

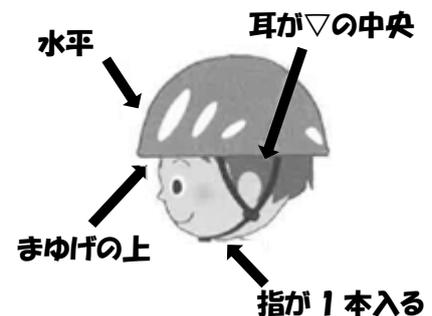
◆安全な乗せ方・降ろし方

- 平らな場所に駐輪して乗り降りしましょう。
- 幼児 2 人を乗せるときには、後部座席→前部座席の順に降ろすときには、前部座席→後部座席の順にしましょう。
- シートベルトを着用しましょう。
- ヘルメットは、下車してから外しましょう。

◆自転車に乗るときに気を付けること

- 自転車用のヘルメットを着用しましょう。
- 周りが暗くなったら、必ずライトをつけましょう。
- 交通ルールを守りましょう。
- 出会い頭の事故を防ぐために、信号のない交差点も必ず一時停止して通行しましょう。
- 歩道を走行するときは徐行するか、自転車から降りて歩きましょう。
- 決められた場所に駐輪しましょう。

自転車用ヘルメットのかぶり方



新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いています。また、厳しい残暑も続く予報です。熱中症に注意しながら、引き続き感染予防を心がけましょう。